



久留米で農業始めませんか?!



久留米への移住
久留米での農業
考えるあなたに

久留米市と農家が
あなたの一步を
応援します!



住みやすいまち“久留米”

久留米市は福岡県の南部に位置し、約 30 万人が暮らしています。
九州一の大河である筑後川や雄大な耳納連山が連なる自然豊かなまちです。
実際に暮らしている人は久留米をどのように感じているのでしょうか？

「市民意識調査」の結果をみてみましょう。

あなたは久留米を住みやすいと思いますか？

久留米は
住みやすい



88.4%

(令和元年度市民意識調査より)

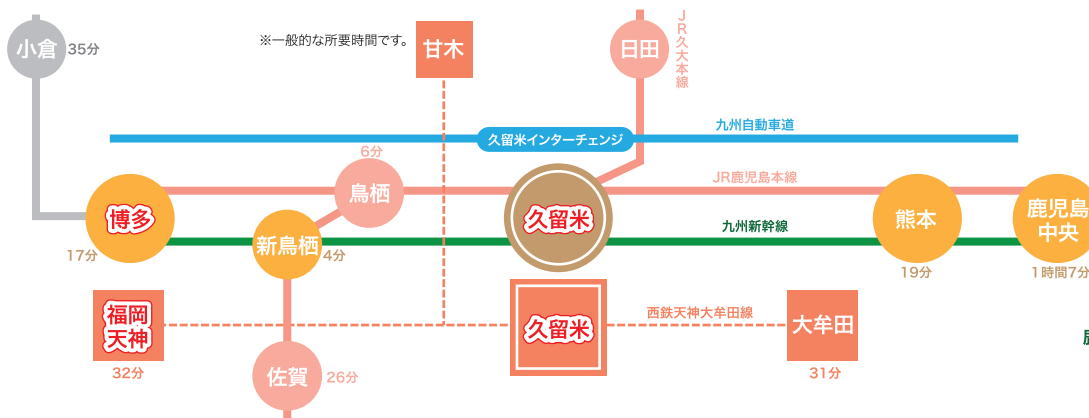
88.4%の人が久留米は「住みやすい」と回答しています。「住みやすい」と回答された方は、自然環境の豊かさや新鮮な農産物やおいしい食べ物の豊富さ、医療や福祉の充実で「満足」度が高くなっています。また、買い物や飲食など日常生活の便利さや住んでいる人の親切さなども高く評価されています。

「久留米」の魅力

◇便利な交通アクセス

九州自動車道や国道3号をはじめとする広域幹線道路、市内全域を網羅する路線バス網、そしてJRは九州新幹線と鹿児島本線、久大本線、西鉄電車は天神大牟田線、甘木線が縦横に走っています。

博多まで
新幹線で**17分!**
福岡(天神)まで
西鉄電車で**32分!**



◇トップクラスの医療環境

市内には34の病院と300を超える診療所など多くの医療機関があり、人口10万人あたりの医師は全国トップクラス。子どもから大人までいざという時に安心です。



◇豊かな教育環境

国立、県立、市立校等のほか、特色ある教育活動を行う私立の中学・高校・大学があり、学びの場が豊富です。

Topic



久留米市は、「住みやすさ日本一」を目指し、子育て、教育、医療など幅広い支援施策に積極的に取り組んでいます。
詳しくは、[くるめのくらし](#) 検索

農業のまち“久留米”

筑後川の豊かな水と筑後平野の肥沃な大地、温暖な気候に恵まれた「久留米」は、米麦大豆、野菜、果樹、植木・苗木、花き、畜産など様々な品目を生産する県内最大の農業のまちです。

久留米市の 主要生産物 マップ



米	麦	大豆	ハトムギ	レタス	サラダ菜	ホウレンソウ	キャベツ	トマト	ダイコン	キュウリ	イチゴ	ネギ	小松菜
ミズナ	アスパラ	タマネギ	柿	いちじく	なし	ぶどう	植木・苗木	花き	酪農	肉用牛	養鶏		

出荷量県内1位 出荷量県内2位 出典：福岡県調べ（平成29年産）

◇福岡県内順位（平成30年）

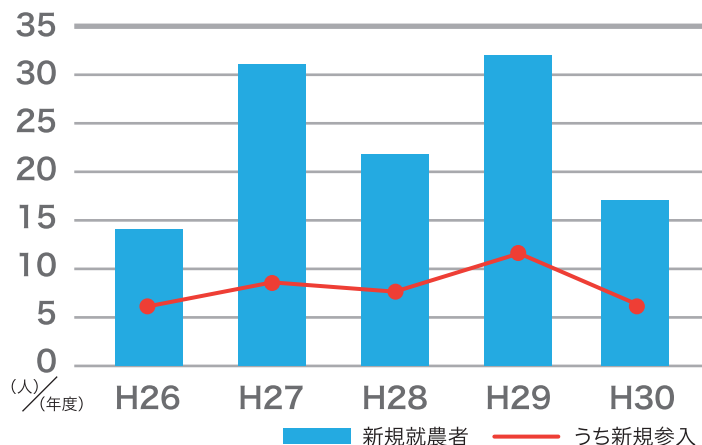
順位	都市名	農業産出額
1位	久留米市	2,978千万円
2位	八女市	2,376千万円
3位	糸島市	1,594千万円

久留米市の農業産出額は、九州沖縄で11位
全国で30位

農業のまち久留米は、福岡県内農業産出額1位です。全国に誇る農産物を数多く生産しています。

出典：久留米市調べ

◇新規就農者数の推移



平均すると年に約20人が就農しています。以前は、農業後継者がほとんどでしたが、近年では新規参入する人も増えてきています。

出典：福岡県調べ

Topic



久留米市では『職業として選択できる魅力ある農業』の実現に向けて、就農を考えているあなたを応援します。

詳しくは、久留米市ホームページから
次ページから実際に久留米で活躍している農業者の方々を紹介していきます。

新規就農者

検索

「農業の未来を信じて！」

楽しむ農業を大切にする新規就農者

堀剛さん、宰生さん【就農6年目】

Interview

◇就農のきっかけ

堀剛さんは、山形県出身で、ホテルのフロントをしていましたが、配偶者の宰生さんの妊娠を機に29歳で、九州での就農を決意しました。

生まれてくる我が子に、「夢や目標を持って豊かな充実した人生を歩んで欲しい。」と願い、まず、父親である自分がそれを実践すべきと考え、以前から興味があった農業に参入。初めは農業法人に就職し、34歳で独立。現在は、草野・大橋地区で露地野菜を中心に生産しています。現在40歳3児の父で、就農のきっかけを作ってくれた長男も11歳になったと話してくれました。

◇久留米を選んでよかった点

福岡県や大分県を中心に就農地を探しており、耳納連山の美しさに魅せられて久留米に移住を決意しました。

久留米は一大農業都市で、優秀なベテラン農業者が多数おられますので、野菜だけでなく、米、麦、果樹、酪農、植木など一年中作られているため、多くの選択肢の中から自分に合った品目、品種、栽培方法、販売方法を選べるのが最大の魅力だということです。

また、生活面では、医療や教育など充実した都市

機能、豊かな自然と歴史ある文化、人柄も暖かく親切な方も多いなど、不自由なく生活することができるまちとのことでした。

最近、仲間とスイートコーンの共同販売グループを立ち上げたそうで、多くの農業仲間と夢や目標を語り合えることが一番の喜びだということです。

◇農業への思い、こだわり

「楽しんで農業をすること」に一番こだわっており、その中で、経済的にも成功し、地域社会にも貢献していけたら最高だと言われました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

日本が本当の意味で豊かな社会を目指すとしたら「農業」というものが大きなキーワードになってきます。これから農業を目指す方は、その一歩が社会を良い方向に前進させると思います。農業は本当に面白いので、自分流の営農方法を見つけて楽しんで欲しいと、未来の仲間だけでなく農業の“未来”に向けた熱いエールをいただきました。



DATA



経営面積／約2ヘクタール

主な生産作物／イチゴ、キュウリ、スイートコーン、レタスその他露地野菜

労働力構成／本人、配偶者、義母、常雇用1名、臨時雇用2名

「年収1000万円以上！」

目標を現実にした青年農業者
緒方宏平さん【就農10年目】

Interview

◇就農のきっかけ

緒方宏平さんは、学生の頃から「何か事業を興したい」「20代で1000万以上稼ぎたい」を人生の目標にしていました。

地元で少年サッカーのコーチをしていた時、保護者に農家が多く興味が湧き始め、24歳のときに銀行を辞め、就農することを決意されました。

◇久留米を選んでよかった点

生活面では、農産物を始め食べ物が豊富なため、どの飲食店も美味しい物を食べることができます。また、それ以外も不自由なく生活でき、久留米での農業生活を満喫されています。

農業では、同世代の農業者も多く、情報共有しやすい環境にあります。仲間でありライバル関係でもあるので、日頃からモチベーションを高く保てることが、良い営農状況につながっています。

また、先輩方が築き上げた販売ルートや栽培技術も受け継ぐことができるので、新規で始めた時から現在まで大変助かっていると言われました。

◇農業への思い、こだわり

栽培データなど詳しく残して翌年に活かしています。その結果もあり、現在は試験品種の栽培依頼を

受けることも多くなったということです。

データを活かし栽培管理は絶対に手を抜いてはいけなと考えています。常に新しいことに挑戦しながら、安全管理はもちろん野菜の見栄えにもこだわって、高品質な野菜生産を目指しているとのこと。

今後は、従業員に対しての待遇改善や、新たなパッケージセンターの建設など、現状に満足せず、「現状打破」の精神で常に新しいことにチャレンジしていきたいとのことでした。

◇うれしかったこと

自分で作った野菜が「美味しい」と言われることが素直に嬉しく、今後のやる気につながっています。

また、農業を通じて沢山の新しい仲間ができたことがよかったと言われました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

久留米は、多くの若手農家がいって切磋琢磨できる環境が整っているため、まずはしっかりと勉強して技術を身に付けることが大切です。頑張った分だけの見返りが必ずあるのが農業だと、将来の仲間・ライバルに対し力強く語ってくれました。



DATA



経営面積／約14ヘクタール

主な生産作物／小松菜、ホウレンソウ、スイートコーン、ブロッコリー

労働力構成／本人、役員3名、従業員14名、パート3名

「職業として選択できる農業を」

子にも誇れる農業を目指す青年農業者

岡光輝さん【就農29年目】

Interview



◇就農のきっかけ、生産の規模

岡光輝さんは、代々久留米で農業を営む農家の生まれで、久留米筑水高等学校を卒業後、親の勧めもあって就農しました。

就農後は、徐々に経営規模を拡大し、現在は、水稻18ヘクタールをはじめ、大豆1.8ヘクタール、小麦を15ヘクタール、野菜では、露地でホウレンソウやブロッコリーを2ヘクタール、施設で小松菜を2,000坪(約70アール)栽培しています。

また、ピオーネやシャインマスカットなどの品種のぶどうも20アール程栽培されており、岡さんの農業は、多様な品目が生産される久留米市の農業を体現したものだと感じました。

◇農業への思い、姿勢、こだわり

従業員などがいるので、多くの種類の作物を作って、年間通した作業や出荷ができるよう心掛けています。

また、自分で作った物は、必ず一番に自分食べていると言われました。生まれ育った場所なので、農業経営や生活面で問題はないが、近

年の水害や台風などの自然災害では、被害を受け、自分の力では何もできないこともあり、辛かったこともあったと言うことです。

しかし、自分が作った作物が、子や多くの人から「美味しい」と言われる時は、とても嬉しく作って良かったと感じることができるとお話しされました。

今は、自分の子から「農業に就職したい」と、職業の1つとして選んでもらえるような経営者を目指していると言うことです。

◇人の繋がりも大切

農業だけでなく、地域や他の農業者との関わりも大切だと言われました。現在は卒業されていますが、以前はJA青年部で頑張っていました。また、消防団に所属し、地域の活動を精力的に行うなど、本当に地域と人との繋がりを大切にされているなど感じました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

久留米は、温暖な地域なので、作物が作りやすいです。

また、積極的に地域にも関わり、地域の人に認められるようになれば、より楽しい農業生活が送れますと、笑顔でお話しされました。



DATA



経営面積／約38ヘクタール

主な生産作物／水稻、大豆、小麦、ホウレンソウ、ブロッコリー、小松菜、ぶどうなど

労働力構成／本人、家族2名、従業員2名、パート1名

「家族のそばで働ける！」

家族の絆で美味しいイチゴを作る新規就農者

川勝大作さん・真理さん【就農5年目】

Interview

◇就農のきっかけ

川勝大作さんは板金工場で働いていましたが、20代半ば頃「自営業をしたい」と考えていた際、友人のJA職員から聞いたイチゴ農家に魅力を感じたそうです。

ちょうどその頃、配偶者の真理さんが難病を患ったため、いつも目の届く所で一緒に働くことができ、子ども達と接する時間も増えることが農業に参入する決め手となり、地元に戻って就農されました。

◇久留米を選んでよかった点

大作さんの地元であり慣れ親しんだ土地ですが、家族で生活することで、改めて住みやすい所だと実感されています。

生活面では、真理さんの体調面もあるので医療機関が充実しており、美味しい食べ物が沢山あるのが良い点です。また、伝統ある楽しい行事も多く、地域の皆さんの人柄が良いのも魅力だと話されました。

また、農業に関しては、久留米は栽培に適した環境であり農業が盛んなので、相談したい時も先輩農家やJA、市役所など沢山の相談先があるので安心だそうです。

◇農業への思い、姿勢、こだわり

毎年気候が違うため、その年にあった栽培方法に取り組まれています。

イチゴの株の状態や温度、日射量、二酸化炭素濃度などのデータは常に記録し、状況にあった管理を想定して行い、大きくて美味しいイチゴになるよう心掛けています。しかし、就農当初は夜中の作業が続き、イチゴの手入れが上手くできなかったため、良いイチゴができなかったことが辛かったということです。

そのような経験をしましたが、最近自分のイチゴを食べた方から、「美味しい」と直接言われることもあり、それが何よりうれしいと話していただきました。

◇今後の目標

現在、JAみづまの青年部でイチゴの宣伝活動やイベントに参加しており、今後も、多くの方にイチゴを食べてもらい、誰からも「美味しい」と言われるイチゴ作りをするため、規模拡大を検討していると語られました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

農業を始めるなら久留米が良いと思いますし、辛いこともあるけれど、楽しいことの方が多いと思っています。

イチゴは愛情もって育てると、それにちゃんと答えてくれるのが農業の魅力と思っていますので皆さんも頑張ってくださいと応援の言葉をいただきました。



経営面積／20アール
生産作物／イチゴ
労働力構成／本人、配偶者





【移住・定住に関する情報】

くるめのくらし

検索

▼詳しくはこちらから

【就農に関する情報】

久留米市ホームページから

新規就農者

検索



【久留米産農産物プロモーション動画

「くるめさん、ぐるめさん」YouTubeで配信中!】

▼くるめさん、ぐるめさん

YouTubeから

くるめさん、ぐるめさん

検索



制作: 令和2年3月 久留米市担い手育成総合支援協議会

